

資料室便り

交通の専門図書館 交通経済研究所資料室

■新着書棚から（新しく受け入れた資料の紹介）



『The JR Hokkaido 北海道への旅』

The JR Hokkaido 編集部編
北海道新聞社発行
2024年1月
1,980円（税込）

車内誌「The JR Hokkaido」は、JR北海道が発足した1987年4月に隔月刊誌として創刊され、89年5月に月刊化、現在は430号を越えて毎月10万部を発行する情報誌である。「北海道の旅の情報誌」として、北海道の風景やグルメ情報、エッセーなど、列車を通じた北海道との出会いを発信しており、特に明治期から北海道を切り開いてきた鉄道と人、産業、自然の関わりを深掘りしている。北海道内の特急全車両の座席ポケットに常備され、持ち帰りや定期購読もできることから道外の愛読者も多い。

本書は、その巻頭特集として2006年から連載されている記事の中から16本を再録。冒頭の「[鉄道]を拓いた一番星たち—クロフォードのもとに集え!」では、道内初の鉄道「宮宮幌内鉄道」とお雇い外国人クロフォードを紹介、また「鉄道が拓いた釧路の近代—硫黄、石炭、木材」では、釧路港の近代化と港・炭鉱を結ぶ鉄道建設の歴史に触れる。巻頭では、創刊号から2023年12月発行の430号までの表紙をカラーで紹介している。(原)

■書庫のなかから（所蔵資料の紹介）

『日本経済のロジスティクス革新力』

宮下國生著
千倉書房発行
2011年2月
所蔵箇所：上野（上野所蔵のものは一般公開中）

本書は、ロジスティクス・国際物流・国際交通の研究者（執筆当時大阪産業大学教授、神戸大学名誉教授、日本交通学会会長）が、日本経済における製造業のロジスティクス革新力を実証的に解明したものである。

ロジスティクス革新力とは、企業あるいは産業が、景気状態あるいは構造変化によって影響されることなく、在庫削減行動を継続維持できることである。本書ではまず、ロジスティクスの高度化・グローバル化における業態の革新や事業領域の拡大について明らかにしてから、荷主企業のロジスティクス活動の構成と決定経路を構築し、在庫率に着目したロジスティクス力評価モデルを用いて日米の製造業の比較を行っている。次に、ロジスティクス・サイクルの実証分析を行い、失われた10年（1991～2001年）は、空運志向性の高い高付加価値製品の創出に向けた日本製造業の努力の10年であったことを明らかにしている。さらに、ハードとソフトのインフラ形成力について考察を行い、日本海運業を高く評価し、パートナーシップの確立を提唱している。(古森)

資料室からのご案内

蔵書オンライン検索、新着図書・雑誌の情報、月別新着図書目録、所蔵社史・年史のリストなどは、資料室HP (<https://www.itej.or.jp/about>) をご覧ください。

担当：古森崇史、原祥太、土方規義、田邊由佳

